

## 平成24年度 教育委員会の重点目標達成状況報告書

＜総括説明＞

7項目の重点目標を定め、教育委員会一体となり目標達成に向け努めてきた結果、一部達成も含めて6項目について達成することができた。目標が達成できなかった項目についても、一定の効果は実現できていると考えているが、次年度以降は、学校の実態にあった弾力的な運用を図るなど、より一層実効ある取組を行っていききたい。

この達成状況を踏まえつつ、今後も引き続き、長崎県教育方針及び長崎県教育振興基本計画に則り、市町教育委員会や関係機関等との連携・協力のもと、自らの人生と郷土や国家の未来を切り拓き、変化の激しい国際社会で活躍できる人材を育成するための各種施策に取り組んでいく。

| 番号 | 項目  | 具体的な目標（達成水準）  |
|----|---|---|
| 1  | 信頼される学校づくりの推進   | 不祥事防止対策の推進<br>・ 服務規律月間において、自主的な取組を行った学校の割合 100.0%<br>県内公立小・中学校における学校関係者評価（外部評価）の実施率98.0%  |
|    | 達成状況の区分： 達成した<br>＜達成状況＞<br>不祥事防止対策の推進<br>・ 服務規律月間において、自主的な取組を行った学校の割合 100.0%<br>県内公立小・中学校における学校関係者評価（外部評価）の実施率 98.4%                          | ＜今後の課題＞<br>不祥事対策の推進については、今後も引き続き取り組んでいく。<br>学校関係者評価については、評価結果を学校運営の改善に生かす取組を引き続きおこなっていく。  |
| 2  | 学力向上対策の推進   | 公立小・中学校の<br>・ 「基礎・基本チャレンジ」の活用率 100.0%<br>・ 「活用に関する教材事例」の活用率 95.0%   |
|    | 達成状況の区分： 一部達成した<br>＜達成状況＞<br>活用率は、年々上昇してきているものの今年度は5校が未実施。この5校については、同趣旨の問題を学校独自で作成し課題等の改善等を行っている。<br><br>基礎・基本チャレンジ：99.1%<br>活用に関する教材事例：95.0% | ＜今後の課題＞<br>・ 「基礎・基本チャレンジ」は平成24年度で終了事業となるが、平成25年度からは「県学力調査」を実施予定。<br>・ 「県学力調査」では、各教科の平均正答率の6割を超える児童生徒の割合を50%を目指していく。<br>・ 「活用教材」についても、提供する教材の一層の充実を図り、各校における有効活用を促進する。 |

| 番号 | 項目   | 具体的な目標（達成水準）  |
|----|--|---|
|    | 職業教育の推進  | 新規公立高等学校卒業者の県内就職率（県内就職希望者に対する県内就職者の割合）が、総合計画における最終目標値（93%）を上回る  |
|    | 達成状況の区分： 達成した<br><達成状況><br>新規公立高等学校卒業者の平成25年3月末現在の県内就職率<br>98.6%   | <今後の課題><br>・就職支援対策を強化し、郷土を担う高校生の就職活動を引き続き支援していく。  |
|    | 国際化に対応した教育の推進  | 「ジュニア・イングリッシュ・チャレンジ」への参加率<br>公立小学校 70.0%<br>公立中学校 80.0%<br>語学を活かした進学又は就職を希望する生徒の割合（「長崎発」グローバル人材育成支援事業」参加生徒における割合）<br>40.0%  |
| 2  | 達成状況の区分： 達成できなかった<br><達成状況><br>中学校は、1回目で目標としていた級を取得した生徒が多かったため、2回目を実施しなかった学校もあり参加率が下がったこと、小規模校においては教室・監督者の確保が困難であること、7段階の問題があり参加校の教員が選択して実施する場合と児童生徒が自ら問題を選ぶ場合の2つがあり問題の準備が困難な状況があることから、参加率が下がったと考えられる。<br>参加率（実数）<br>・小学校...66.6%<br>・中学校...54.4%<br>「長崎発」グローバル人材育成支援事業については、語学を活かした進学又は就職を希望する生徒の割合は92.3%であり、目標を達成することができた。 | <今後の課題><br>・本事業は、実施のあり方や運営の方法に課題があったもの、改善を施しながら、年々参加率は上がってきていた。<br>・本事業を平成24年度で終了し、今後は過去5回の問題等をダウンロードできるようにすることで、級認定ができるようにする。<br>・今後、同様の事業を実施する際には、現場の負担感等にも配慮した事業を実施していきたい。<br>・「長崎発」グローバル人材育成支援事業については、研修内容の見直しや改善を行い、新たな活動を盛り込むことによって、事業を更に充実したものにしていきたい。 |

| 番号 | 項目  | 具体的な目標（達成水準）  |
|----|---|---|
| 2  | 特別支援教育の推進   | 県内公立幼・小・中・高等学校における「個別の教育支援計画」の作成率<br>68.0%  |
|    | 達成状況の区分： 達成した<br><達成状況><br>平成24年度特別支援教育体制整備状況調査（平成24年9月1日現在）<br>県内公立幼・小・中・高等学校における個別の教育支援計画作成状況<br>・幼稚園の作成率 78.6%<br>・小学校の作成率 75.3%<br>・中学校の作成率 64.1%<br>・高等学校の作成率 43.9%<br>・全体の作成率 69.7% | <今後の課題><br>・幼稚園等から小学校への円滑な就学や、小学校から中学校、中学校から高等学校への継続した指導・支援の充実を図るため、個別の教育支援計画の作成・活用を通して、学校間の適切な引継ぎや連携を推進する。<br>・高等学校における特別支援教育を推進するため、個別の教育支援計画を作成・活用した校内支援体制の構築を図る。          |
| 3  | 子どもの読書活動の推進   | 公立小・中・高等学校の児童生徒の1か月の読書量<br>小学生 11.9冊<br>中学生 6.4冊<br>高校生 3.8冊  |
|    | 達成状況の区分： 一部達成した<br><達成状況><br>1か月の読書量<br>小学生 11.9冊<br>中学生 6.1冊<br>高校生 3.8冊<br>小学校、高校においては目標を達成することができたが、中学校においては、新学習指導要領の導入により、学習や部活動等で多忙であるため、目標値を達成できなかったが、全国平均の4.2冊を上回る数値となっている。        | <今後の課題><br>・司書教諭や学校司書等の研修等を充実を図り、その資質向上を努める。<br>・学校図書館教育の全体計画や活用計画の中で、学校図書館の活用する取り組みを進める。<br>・市町に対する取り組みを促す。<br>・庁内関係各課との連携を強化する。   |
|    | 豊かな心と志をもってたくましく生きる力の育成  | 夢やあこがれを実現するために努力している中学生の割合 60.0%  |
|    | 達成状況の区分： 達成できなかった<br><達成状況><br>58.6%<br>各中学校での取組は十分なされており、「夢やあこがれ、将来の進路について自らの思いを語る生徒が増えた」など生徒の意識は確実に変化しているところであるが、本取組の趣旨や内容、成果等についての周知がまだ十分ではないため、目標が達成できなかった。                           | <今後の課題><br>・平成21年度から実施してきた本事業は平成24年度で終了となったが、本事業の取組の中で、生徒が自分の能力や適正を客観的にみつめることができるようになり、生徒がさらに努力する姿が見られるなど、目標値にわずかに達できなかったものの一定の成果は上がった。<br>なお、今後は生徒が更に目的意識を高めるような取組を検討していきたい。 |

【様式2】

| 番号 | 項目  | 具体的な目標（達成水準）   |
|----|---|--|
| 3  | 学校体育・スポーツの推進  | 全国体力・運動能力・運動習慣等調査において、児童生徒が「体育の授業で運動やスポーツが今までよりもできるようになった」と回答する割合 92.0%  |
|    | 達成状況の区分： 達成できなかった   | <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育担当者会、市町体育担当主事会、指導力向上セミナーなどの研修等の充実により、指導力の向上を図る。</li> <li>・子どもたちが意欲的に運動に取り組むよう、各学校における体力向上アクションプランの活用を促進する。</li> </ul> |
|    | <p>&lt;達成状況&gt;</p> <p>全国体力・運動能力・運動習慣等調査における回答 90.3%</p> <p>子どもの体力向上が盛り込まれた学習指導要領の改訂が行われたが、改訂の趣旨の浸透・定着が遅れており、その内容の理解度が低いためと考えられる。</p> |  |
| 4  | 安全・安心で快適な学校づくりの推進   | 県立学校の耐震化率 100.0%   |
|    | <p>達成状況の区分： 達成した</p> <p>&lt;達成状況&gt;</p> <p>耐震化率 100.0%</p>   | <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非構造部材（体育館・武道場の照明器具落下防止対策）耐震化の100%を目指す。</li> </ul>   |
| 5  | 学校・家庭・地域の連携による子どもの育成  | 「学校支援会議」等における自らの取組が、学校・家庭・地域の連携につながっていると評価している小・中学校区の割合 90.0%  |
|    | <p>達成状況の区分： 達成した</p> <p>&lt;達成状況&gt;</p> <p>「学校支援会議」等における自らの取組が、学校・家庭・地域の連携につながっていると評価している小・中学校区の割合 92.8%</p>                         | <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <p>今後も学校・家庭・地域の更なる連携が図られるよう研修会の実施やコーディネーターの養成など、内容の充実を図る。</p>   |
| 6  | 生涯学習環境の整備   | ながさき県民大学の講座受講者数 525,000人   |
|    | 達成状況の区分： 達成した   | <p>&lt;今後の課題&gt;</p> <p>・平成24年度「ながさき県民大学」登録講座数は2,496講座で前年比+34であるが、民間教育事業者による講座数だけを見れば大幅に減少している。今後、県や市町で実施している生涯学習講座（イベント）との連携を推進していく。</p>  |
|    | <p>&lt;達成状況&gt;</p> <p>講座受講者数 530,599人</p>  |  |

【様式2】

| 番号 | 項目   | 具体的な目標（達成水準）  |
|----|--|---|
|    | 文化芸術活動の推進  | 「2013 長崎しおかぜ総文祭プレ大会」に参加した県民及び高校生の数<br>21,000人   |
|    | 達成状況の区分： 達成した  | <今後の課題>   |
|    | <達成状況><br>県民及び高校生の参加者数<br>23,746人  | 今後も広く県民の皆様に応援していただくため、広報イベント等とおして、積極的に周知していく。   |
|    | 競技力向上対策の推進   | 国体の天皇杯順位（総合順位）<br>10位台前半  |
| 7  | 達成状況の区分： 達成できなかった<br><br><達成状況><br>個人種目の有望競技での得点が伸び悩み、成年種別の団体有望競技が接戦の末に惜敗したこと、また九州ブロック大会で本国体入賞有望競技が代表権を獲得できなかったことなどが要因で目標を達成できなかった。<br><br>順位20位 | <今後の課題><br><br>・成年種別における「全国トップレベル選手の確保」と全国トップレベルを意識した強化練習、少年種別におけるターゲットエイジを中心とした国体拠点校でのさらなる強化に取り組む。<br>・競技力向上対策を推進していく中で、引き続き「全競技種目の強化」に取り組む。<br>・「九州No1計画」のもと、九州ブロック大会に全力で取り組み、1位を1つでも多く獲得するとともに、本大会に向けて目標設定を高くし、接戦に強いチームづくりを行う。 |